



はしもと

〈病院理念〉

地域に根づいた患者様に信頼される病院づくり

〈基本方針〉

～心のかよう病院を目指して～

患者様のため、まごころの医療を目指します

地域の皆様から信頼される病院づくりに努めます

常に新しく良質な医療ができるように心がけます

皆様の健康増進、疾病予防のお役に立ちたいと願っております

〈病院運営のコンセプト〉

1. 気づきの医療

2. わかりやすさ





吉尾雅春先生来院

10月24日(月)、千里リハビリテーション病院副院長で当院の顧問でもある吉尾雅春副院長（理学療法士）にお越しいただき、バイザー指導をしていただきました。脳卒中の患者さんの脳画像からの予後予測をスタッフが考えプレゼンし、その患者さんも参加して現在のアプローチ方法を見ていただき、リハビリの進め方、考え方等を教えていただきました。また、客観的予測と希望的予測との違い、希望に対してではなく改善の可能性があるところに積極的にリハビリすること等ご指導いただきました。



看護部

職場体験学習

今年も9月に三豊中学校2名、10月に和光中学校2名の中学生の職場体験をお受けしました。

職場体験は

- (1) 実際に仕事に携わり、働くことを体験することによって、職業や仕事に対する具体的な知識・理解を得る。
- (2) 働く人の姿や意見を見聞きしたり、仕事についての指導を受けたり知ることによって、働くことの苦労や喜び、仕事を通して生きがいなどについて知る。
- (3) 社会生活・職業生活を営む上でのマナーやルールとしての規律、礼儀、ことば遣いなどの大切さについて知り自分の生活を振り返る。
- (4) 地元の企業や職業についての理解を深める。

等を目的としています。

和光中学校 香川恵理紗さんの作文 ~中略~

作業療法士、理学療法士、言語聴覚士の名前は聞いたことがあったけど違いは分かりませんでした。でも、職員の方々が教えて下さって、違いが分かりました。職場体験に行くまでは、すごく大変な仕事なのかなと思っていました。でも大変な一面もあるけど患者さんとの交流はすぐれたのしかったです。患者さんは病院を信頼してくれています。その信頼も壊さないようにするのが、とても大切な感じました。

私は普段当たり前のように歩いたり、食べたり、飲んだり会話をしています。それが欠けることは考えたこともありませんでした。しかし、それらの一つでも欠けたら生活することが大変になるということが分かりました。今は「当たり前の生活」を「ありがたい生活」と思えるようにしたいです。



ソーシャルワーカー

カンファレンスについて

回復期リハビリテーション病棟では、入院されている患者様に対し、病棟で月に1回『カンファレンス』を開催しています。

カンファレンスとは、現時点でのリハビリの進行状況の報告や1ヶ月後の目標・退院目処・退院時の目標を患者様、ご家族様を交えて一緒に話し合いながら決めていく話し合いの場のことです。



カンファレンス開催日程
・曜日：月曜日～土曜日
・時間：①13:30～
②14:00～
③14:30～

患者様、ご家族様、医師、看護師、リハビリスタッフ、ソーシャルワーカーが参加し、カンファレンスを開催しています。

入院生活を送る中で、身体状況やリハビリの進行状況は一番気になるところだと思います。そういった点を各専門スタッフより患者様やご家族様にお伝えし、一緒に今後の目標や退院後の生活について決めていきます。「いつまで入院できるのか？」、「今の体の状態、リハビリを行いどの程度まで回復するのか？」など、患者様、ご家族様が知りたい情報をお伝えしていきます。その上で出てきた課題を話し合い、解決策を一緒に考えていきます。入院中の不安や気になる事、退院後の不安など、なんでもお気軽にご相談ください。

認知症治療病棟

病棟でのリハビリについて

認知症治療病棟には作業療法士が1人在籍しています。

患者様の心身機能を評価し、各個人に合わせた目標を立てて関わっています。

食事や整容、排泄などの日常生活動作への介入のほか、主に午前は病院周辺の散歩や、病棟の神棚へ参拝に行き、午後は患者様それぞれの状態や興味関心等に合わせた活動を提供しています。

日中に活動を行うことで1日の生活リズムをつくり、認知症による症状の軽減、身体機能の維持を図ります。



訪問リハビリテーションセンターはしもと

橋本病院では、退院直後の患者様や在宅で生活されている方をサポートするため、在宅生活を支えるリハビリテーションにも取り組んでいます。訪問リハビリでは、機能改善に加え生活機能の向上や社会的活動への参加をサポートしています。

9月15日には、ケアマネジャー様を対象に在宅生活に必要な知識講座として、

『ADLとIADL自立に向けたリハビリテーション』についての勉強会を開催させていただきました。

【日時】平成28年9月15日（木）14：00～15：30

【場所】橋本病院 会議室

【内容】「日常生活動作獲得に向けた動作パターンの見方」

講師：佐藤 和美（訪問リハビリテーションセンターはしもと 理学療法士）

「歩行補助具と環境設定～リハビリの視点～」

講師：三好 健太（訪問リハビリテーションセンターはしもと 理学療法士）



次回は、肺炎になりやすい寒い時期に合わせて、嚥下や呼吸についての勉強会を行います。

★次回開催のご案内★

第3回 平成28年12月15日 肺炎予防に対するリハビリテーション

「自宅で出来る呼吸リハ」〔理学療法士 佐藤勇人〕

「在宅生活における嚥下の評価、対処方法」〔言語聴覚士 白川卓〕

第4回 平成29年3月16日 在宅で過ごす為のリハビリテーション

「認知症に対するリハビリテーション」〔作業療法士 田邊夏美〕

「最期まで支援するリハビリテーション」〔理学療法士 佐藤和美〕

介護職向け腰痛予防教室・出張腰痛予防教室

愛媛県老人福祉施設協議会からの依頼で介護職向け腰痛予防教室を行いました。

8割の方が人生の内一度は経験すると言われている腰痛。特に介護職の方にとっては「職業病」とも言えるものであり、仕事を続けていく上では大きな悩みの一つとされています。今回は、解剖学や運動学的にみた腰痛の原因と職場でも出来る簡単な体操の紹介、移乗など介護技術で腰痛を発生させない為の身体の使い方を講義させて頂きました。介護職は、要介護の方をケアしていくことが仕事ですが、自分の身体もケアしながら続けて頂ければと思いました。

日時：平成28年9月27日（水）13：00～14：30

場所：愛媛県土居文化会館

対象：東予地区老人福祉施設職員



川之江市のサロンに出向き、腰痛予防教室を行いました。

日時：平成28年10月11日（火）10：00～11：00

対象：川之江市サロン所属の会員



腰痛予防と改善についての講義に加え、手軽に行えるストレッチや運動を行なって頂きました。自分の身体のどの筋力が弱いのか、どの筋肉が硬くなっているのか等を確認して頂き自分に合った運動を探す。大事な事ですが、なかなか出来ません。一人一人身体は違うので、自分に合った方法と負荷量で元気な身体をこれからも維持して頂ければと思います。

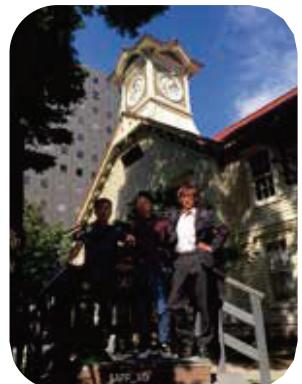
学会発表

第50回日本作業療法学会

会期：平成28年9月9日（金）～11日（日）

会場：ロイトン札幌 札幌市教育文化会館

ホテルさっぽろ芸文館・ニトリ文化ホール



「当院回復期リハビリテーション病棟における生活行為向上マネジメント使用の推進」

纏纏功OT

「認知機能低下患者の日常生活における麻痺側上肢参加の有効性について」喜井隆太郎OT

「麻痺側肩複合体の疼痛変化に関する因子について」篠原智哉OT

第24回日本慢性期医療学会

会期：平成28年10月27日（木）～28日（金）

会場：石川県立音楽堂 ホテル日航金沢



「NSTによる認知症自立度別でみた低栄養リスクと食事摂取量の推移」

宮本明友Ns

「院内感染防止に対する取り組み～手指衛生の意識向上を目指して～」北岡久美子Ns

「回復期リハ病棟におけるM-FIM効率と運動各項目の推移～大腿骨転子部骨折患者～」中村健士郎PT

「重度の運動障害性構音障害に対する発話と拡大・代替コミュニケーション（AAC）訓練」石井桃子ST

リハビリテーション・ケア合同研究大会 茨城2016

会期：平成28年10月27日（木）～29日（土）

会場：つくば国際会議場



「訪問リハビリテーションの関わりにより交通指導員に復帰できたケース」田邊夏美OT

「自宅訪問による疼痛管理によって生活行為が安定した症例」森均OT

栄養部

► イベント食をご紹介いたします！

ごちそうの日(赤飯)



ごちそうの日(寿司)



ハロウィン



病棟バイキング



通所リハ (おやつバイキング)



毎月さまざまな季節のイベントメニュー等提供しています。
次回をお楽しみに!!



家族会

10月22日（土） 家族会（担当：作業療法士）

『テーマ：自助具・生活の工夫について』

自助具とは、片手が不自由な方などが日常生活動作を自分で行いやすくなるための道具のことです。日常生活動作には①食事、②整容、③更衣、④排泄、⑤入浴があります。それらの動作によく使用される自助具を紹介したり、食事を片手で食べやすくなるための工夫について、プレゼンテーションを行い、食事体験もしていただきました。合計23名の患者様・ご家族様が参加されました。一部ですが実際の自助具や簡単に手作りできるものを、参加者の皆様に見ていただき「ちょっとしたことで食べ易さが変わるなあ。」等々、自助具が身近なものであること・便利なものであることを感じていただけました。

今後も少しでもお役に立てる情報を伝えていきます!!



地域連携部

平成25年12月1日から行っている**事前訪問**（当院転院前に患者様が入院されている病院へ直接訪問し、心身状態の把握や入院についての説明等を実施）の平成28年9月-10月の実績（回復期リハビリテーション病棟）を紹介します。

- 1ヶ月の訪問件数：9月【27件】、10月【21件】
- 入院されている病院から紹介状が届いて訪問するまでの平均日数：9月【5.5日】、10月【4.6日】
- 紹介状が届いて当院へ転院されるまでの平均日数：9月【13.2日】、10月【19.5日】

※事前訪問後、当院へ転院されるまでの平均日数は11.1日（2~57日）です。大変お待たせして申し訳ございません。

対象となる方



- 1.脳血管疾患、脊髄損傷、頭部外傷、くも膜下出血のシャント術後、脳腫瘍、脳炎、急性脳症、脊髄炎、多発性神経炎、多発性硬化症、脳神経叢損傷の発症又は手術後、義肢装着訓練を要する状態から2ヶ月以内。
- 2.多肢の骨折、大腿骨、骨盤、脊椎、股関節又は膝関節の骨折もしくは手術後から2ヶ月以内。
- 3.外科的手術又は肺炎等の治療時の安静により廃用症候群を有しており、手術後または発症後から2ヶ月以内。
- 4.大腿骨、骨盤、脊椎、股関節又は関節の神経、筋又は靭帯損傷後の1ヶ月以内。
- 5.股関節又は膝関節の置換術後の状態の1ヶ月以内。

移動も安心のサービス

転院の際の無料送迎をしております。ご希望の方はお気軽にお申し出下さい。

リハビリは

365日、1日3時間

提供させて頂きます。また、チーム医療で早期に退院できるように取り組んでいます。



入院相談はお気軽にご連絡下さい！

橋本病院 地域連携部

窓口：大西宏美

電話：0875-63-3552(直通)
0875-63-3311(代表)



平成28年7月 認知症治療病棟が
7床増床され67床になりました！



事務部

～診療実績(H28.10月)～

病棟名	1病棟 (29床)	2病棟 (60床)	3A病棟 (35床)	3B病棟 (32床)
入院料	回復期 リハビリ	回復期 リハビリ	認知症 治療	認知症 治療
平均入院患者数	28.6人	59.5人	34.6人	30.8人
平均在院日数	71日	90日	711日	222日
在宅復帰率	83.3%	84.1%	-	-

医療費控除とは？

病気や怪我のために病院へ入院や通院した際、治療にかかった費用等を申告したら税金の一部が戻ってくるという制度です。

医療費控除額の計算式



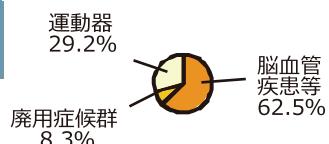
医療費控除の申請方法

- ① 確定申告書を用意する。
税務署で配布しており、国税庁ホームページからも入手できます。
- ② 添付書類を用意する。
医療費や交通費の領収書や明細書、源泉徴収票等が必要です。
- ③ 控除額を計算する。
国税庁ホームページ上で必要項目を入力すると、自動的に計算できるシステムもあります。
- ④ 申告書を記入する。
国税庁ホームページ上で必要項目を入力すると、自動的に記載された申告書が出力されるシステムもあります。
- ⑤ 申告する。
税務署へ持参、郵送、またはe-taxシステムにより提出します。



今はインターネットを使って簡単に確定申告ができる時代です。
医療費控除を上手に活用して家計の節約をしてみませんか！

入院患者疾患別 リハビリテーション 内訳



介護保険施設紹介

香川県理学療法士会介護保険部主催多職種勉強会

香川県理学療法士会介護保険部主催の多職種勉強会に参加しました。

今年度は『多職種連携』をキーワードに、介護支援専門員15名、理学療法士10名、言語聴覚士1名、薬剤師1名、介護職2名、合計29名の西讃地区の介護保険分野に携わる方々が参加していました。前半は訪問リハ・通所リハ・通所介護の各サービスにおけるリハビリテーションの特徴や取り組みを中心に講演していただき、後半は『在宅支援』をテーマにワールドカフェという手法を用いたグループディスカッションで事例検討を行いました。

【日時】 H28年10月8日（土） 14:00～16:30

【場所】 観音寺市立図書館2F多目的ホール

【テーマ】 在宅生活を支えるリハビリ～利用者に適したリハビリの選択～



イベント

第2回FM香川42.195kmいくしまリレーマラソン

開催日：平成28年10月30日（日）

場所：香川県総合運動公園（高松市生島町）

1周2kmを1人2～3周走るリレーマラソンに、理学療法士3名、作業療法士4名、言語聴覚士1名で参加しました。当日は晴天に恵まれ楽しく走ることができました。また、FM香川のパーソナリティの方々にも会えてとても興奮しました。順位はともかく、3時間30分以内を目標にしていましたが、残念ながら達成できませんでした。達成するには1kmを5分（12km/h）で走る必要があります。まだまだ練習が必要です。次回は来年4月のまんのう公園のリレーマラソンに参加予定です。



募集のお知らせ



薬剤師
看護師・准看護師
介護福祉士・介護職



まずは、病院見学にお越し下さい！
給与等詳細は、当院ホームページでも閲覧できます。
<http://www.wafukai-hashimoto.jp>
TEL 0875-63-3311(人事担当:安藤)

医療法人社団和風会 橋本病院

〒768-0103

香川県三豊市山本町財田西902-1

TEL: 0875-63-3311

FAX: 0875-63-2651

入院相談直通電話: 0875-63-3552

E-mail: wafukai@gaea.ocn.ne.jp

ホームページ: <http://www.wafukai-hashimoto.jp>

発行元: 橋本病院 広報委員会

医 回復期リハビリテーション病棟 89床
療 認知症治療病棟 67床

介護 橋本病院指定居宅介護支援事業所
通所リハビリテーションセンターはしもと
メディコポリス観音寺デイサービスセンターはしもと
訪問リハビリテーションセンターはしもと

